



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 技研興業株式会社
 コード番号 9764 URL <http://www.gikenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 温
 (氏名) 会田 直樹

TEL 03-3398-8500

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,429	61.2	102	—	92	—	77	—
24年3月期第2四半期	3,367	△9.3	△421	—	△419	—	△447	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 63百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △459百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.73	—
24年3月期第2四半期	△27.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,730	5,323	54.7
24年3月期	10,082	5,260	52.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,323百万円 24年3月期 5,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,150	6.9	195	186.8	180	176.9	130	333.3	7.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,640,000 株	24年3月期	16,640,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	260,831 株	24年3月期	258,165 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	16,380,759 株	24年3月期2Q	16,388,123 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の各項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調にあったものの、欧州での債務問題の影響や中国での景気後退、円高の常態化等から景気減速感が急速に広がり、依然として不安定な経済環境のまま推移いたしました。

建設関連業界におきましては、震災による設備の修復等もあり設備投資は下げ止まりがみられ、やや持ち直してきており、明るい兆しがある一方、原材料供給難や人手不足等から原価の上昇や工事進捗の遅れがみられる等、本格的な好転までにはまだ予断を許さない状況が続いております。

このような環境のなか、当企業集団は、東日本大震災の復旧・復興需要に積極的に取り組むほか、従前より推進してきた事業分野毎の受注戦略が奏功してきた結果、下半期の受注予定が一部前倒しとなったこともあり、当第2四半期連結累計期間の受注高は7,775百万円（前年同期比47.5%増）を達成し、前年同期に比べ大幅な増加となりました。

売上高は好調な受注状況を背景に、各セグメントとも概ね堅調に推移した結果、5,429百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

利益面につきましては、固定経費を吸収できるだけの売上高の増加があったこと及び業務の効率化と徹底的なコスト削減を実施したこと等から、営業損益は102百万円の営業利益（前年同期は421百万円の営業損失）、経常損益は92百万円の経常利益（前年同期は419百万円の経常損失）、四半期純損益は77百万円の四半期純利益（前年同期は447百万円の四半期純損失）となり、前年同期に比べ黒字転換し、増収増益となりました。

当企業集団の前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間（年度）別	前期繰越受注高 （千円）	受注高 （千円）	売上高 （千円）	次期繰越高 （千円）
前第2四半期連結累計期間	2,757,769	5,271,438	3,367,456	4,661,751
当第2四半期連結累計期間	3,748,636	7,775,168	5,429,548	6,094,256

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（土木関連事業）

受注高は2,335百万円（前年同期比48.7%増）、売上高は1,474百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント損益は123百万円の損失（前年同期は91百万円の損失）となりました。

（建築関連事業）

受注高は3,307百万円（前年同期比35.7%増）、売上高は2,391百万円（前年同期比102.7%増）、セグメント損益は139百万円の利益（前年同期は48百万円の損失）となりました。

（型枠貸与関連事業）

受注高は1,881百万円（前年同期比103.1%増）、売上高は1,323百万円（前年同期比66.5%増）、セグメント損益は213百万円の利益（前年同期は154百万円の損失）となりました。

（ハウジング事業）

受注高は206百万円（前年同期比31.6%減）、売上高は197百万円（前年同期比21.1%増）、セグメント損益は14百万円の損失（前年同期は6百万円の損失）となりました。

（不動産賃貸事業）

受注高は44百万円（前年同期比23.7%増）、売上高は42百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント損益は31百万円の利益（前年同期比105.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末(平成24年3月31日)に比べ351百万円減少し9,730百万円となりました。これは賃貸用鋼製型枠等の有形固定資産の取得による増加があった一方、売掛債権の回収により得られた資金により有利子負債の圧縮を実施したことによるものであります。

また、負債合計は、4,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ415百万円減少しました。減少した主な要因は、工事未払金等の仕入債務の支払いによる減少のほか、借入金の返済、社債の償還によるものであります。

純資産は、当第2四半期連結累計期間の四半期純損益が77百万円の利益となったこと等により前連結会計年度末に比べ63百万円増加し5,323百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.5ポイント上昇し54.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、引続き東日本大震災関連を中心として受注は拡大傾向にあり、損益面につきましても、若干の上含みで推移するものと想定されます。しかしながら、当社を取り巻く需要動向や工事進捗状況、繰延税金資産の回収可能性等、現時点では見極めるのが困難な要素もあるため、平成24年5月14日に公表しました予想数値を据え置くこととし、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	818,976	1,087,388
受取手形・完成工事未収入金等	4,756,308	3,898,475
未成工事支出金	3,526	—
その他のたな卸資産	199,014	321,284
その他	83,246	127,326
貸倒引当金	△24,422	△17,377
流動資産合計	5,836,650	5,417,096
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,429,782	2,429,782
その他(純額)	1,484,365	1,585,941
有形固定資産合計	3,914,147	4,015,723
無形固定資産		
その他	17,400	16,681
無形固定資産合計	17,400	16,681
投資その他の資産		
投資有価証券	153,847	127,575
その他	206,794	192,303
貸倒引当金	△46,696	△38,995
投資その他の資産合計	313,945	280,883
固定資産合計	4,245,493	4,313,288
資産合計	10,082,143	9,730,385
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,868,877	1,369,351
短期借入金	1,259,836	862,521
未払法人税等	29,437	37,341
未成工事受入金	25,061	78,103
賞与引当金	24,116	127,790
その他の引当金	36,736	19,735
その他	281,335	412,158
流動負債合計	3,525,401	2,907,002
固定負債		
社債	391,100	344,800
長期借入金	664,788	932,134
退職給付引当金	92,834	89,035
その他	147,944	133,947
固定負債合計	1,296,666	1,499,916
負債合計	4,822,068	4,406,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	2,667,703	2,745,146
自己株式	△31,966	△32,317
株主資本合計	5,229,577	5,306,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,497	16,796
その他の包括利益累計額合計	30,497	16,796
純資産合計	5,260,074	5,323,466
負債純資産合計	10,082,143	9,730,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,367,456	5,429,548
売上原価	3,187,487	4,716,066
売上総利益	179,968	713,482
販売費及び一般管理費	601,509	610,562
営業利益又は営業損失(△)	△421,540	102,919
営業外収益		
受取利息	809	1,015
受取配当金	3,664	2,494
受取補償金	580	56
貸倒引当金戻入額	11,021	1,566
その他	5,810	3,381
営業外収益合計	21,886	8,514
営業外費用		
支払利息	14,994	15,948
支払手数料	3,628	—
その他	1,624	3,122
営業外費用合計	20,246	19,070
経常利益又は経常損失(△)	△419,901	92,363
特別利益		
受取損害賠償金	—	13,370
特別利益合計	—	13,370
特別損失		
固定資産除却損	4,357	4,365
投資有価証券評価損	—	4,984
損害賠償金	12,000	—
特別損失合計	16,357	9,349
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△436,258	96,384
法人税、住民税及び事業税	11,576	30,422
法人税等調整額	△272	△11,481
法人税等合計	11,304	18,940
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△447,563	77,443
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△447,563	77,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△447,563	77,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,107	△13,700
その他の包括利益合計	△12,107	△13,700
四半期包括利益	△459,670	63,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△459,670	63,742
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	1,195,198	1,179,657	795,144	162,819	34,635	—	3,367,456
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	380	—	1,329	△1,709	—
計	1,195,198	1,179,657	795,524	162,819	35,964	△1,709	3,367,456
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△91,887	△48,229	△154,117	△6,981	15,122	△135,446	△421,540

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	1,474,681	2,391,235	1,323,897	197,171	42,562	—	5,429,548
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,362	△1,362	—
計	1,474,681	2,391,235	1,323,897	197,171	43,924	△1,362	5,429,548
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△123,109	139,802	213,905	△14,494	31,075	△144,259	102,919

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。